

自由が丘駅周辺地区での 大規模駐車場の立地によるインパクト

1. 自由が丘の駐車を取りまく状況《再》

① 駐車場の需給バランス

- 路上駐車実態調査の結果では、駐車需要はある程度充足
- そもそも来街ルートになる幹線系の道路は未整備

② 駐車場の確保と配置

- 土休日を中心に歩行者が多い一方、時間貸駐車場は非常に少ないため、自動車での来街は実質的に困難
- 中小敷地では建て替えと附置義務の両立が困難
地価も高く、隔地での確保も実質的に困難

③ 関連分野との関係

- 駐輪場も確保が進まず、シェアサイクル等も成立しがたい
- 荷捌きは、駐車場所の確保に苦勞されている状況

2. 問題認識(仮説)

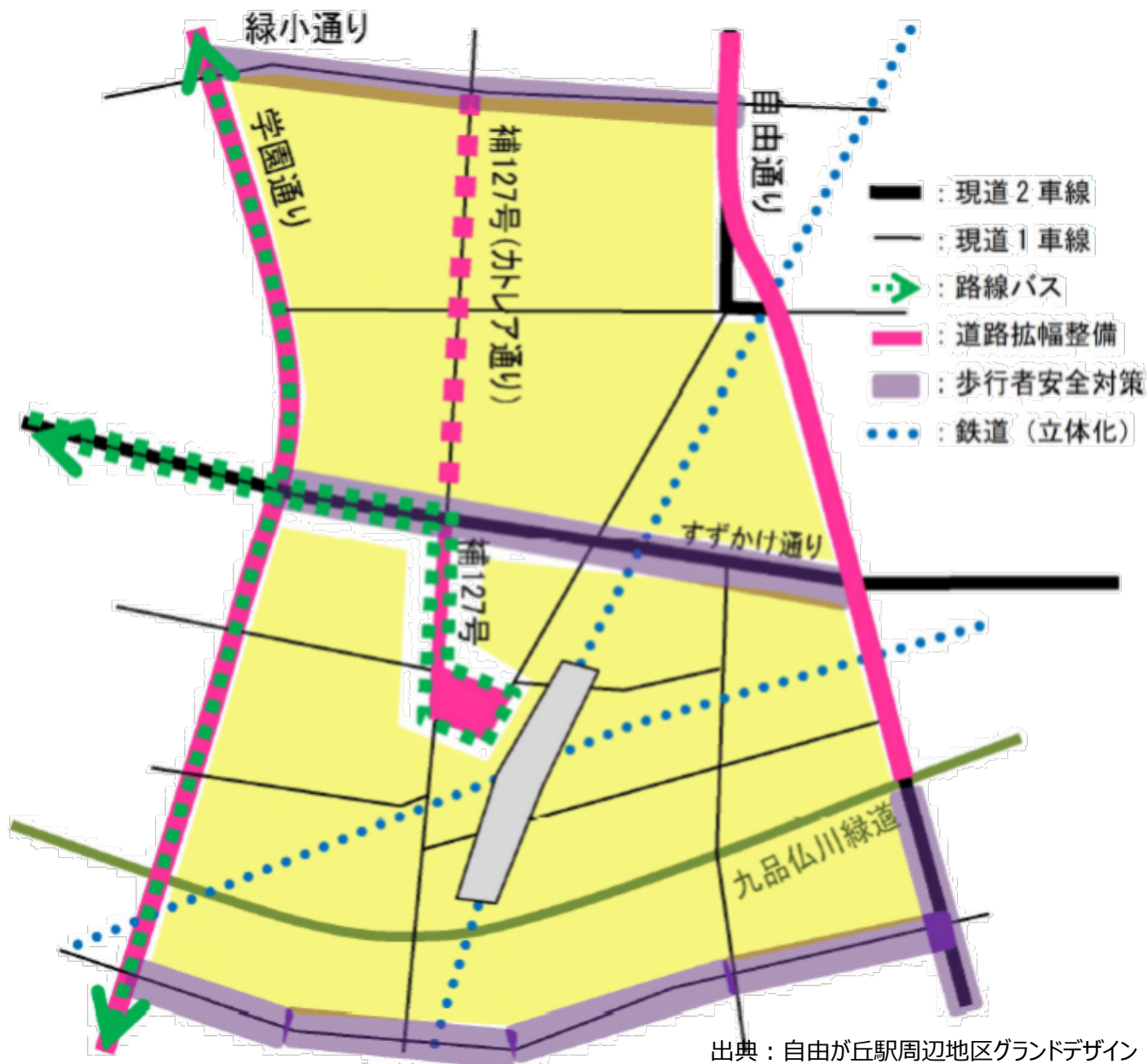
◆道路インフラが現状のまま、
まちなかに大規模集客施設と駐車場が立地した場合、

- ① 自動車交通が大幅に混雑するのではないか？
- ② 歩きたくなるまちと両立ができるのか？

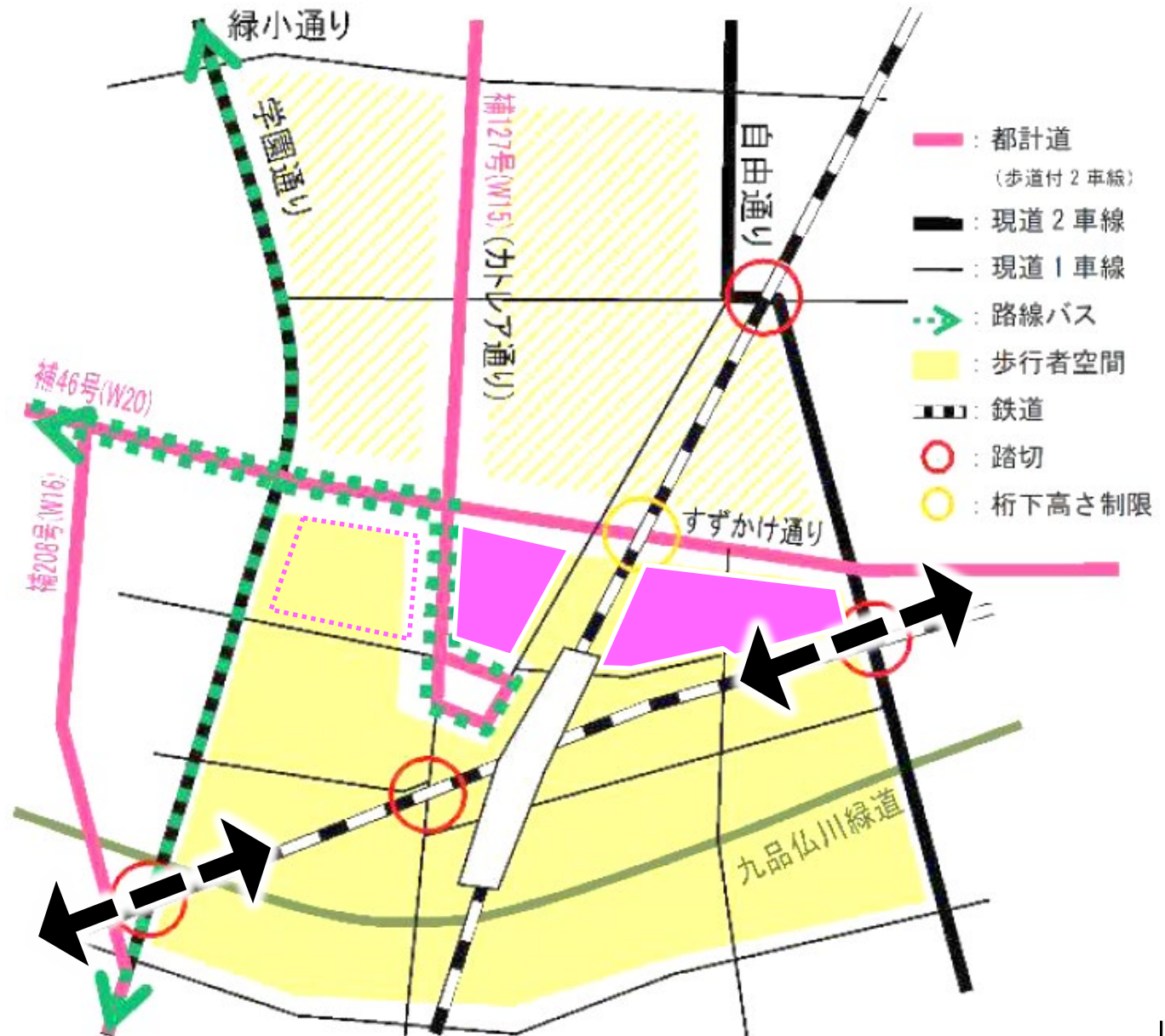


◆開発に伴う交通の変化から、駐車場配置と
出入り動線のあり方を考える。

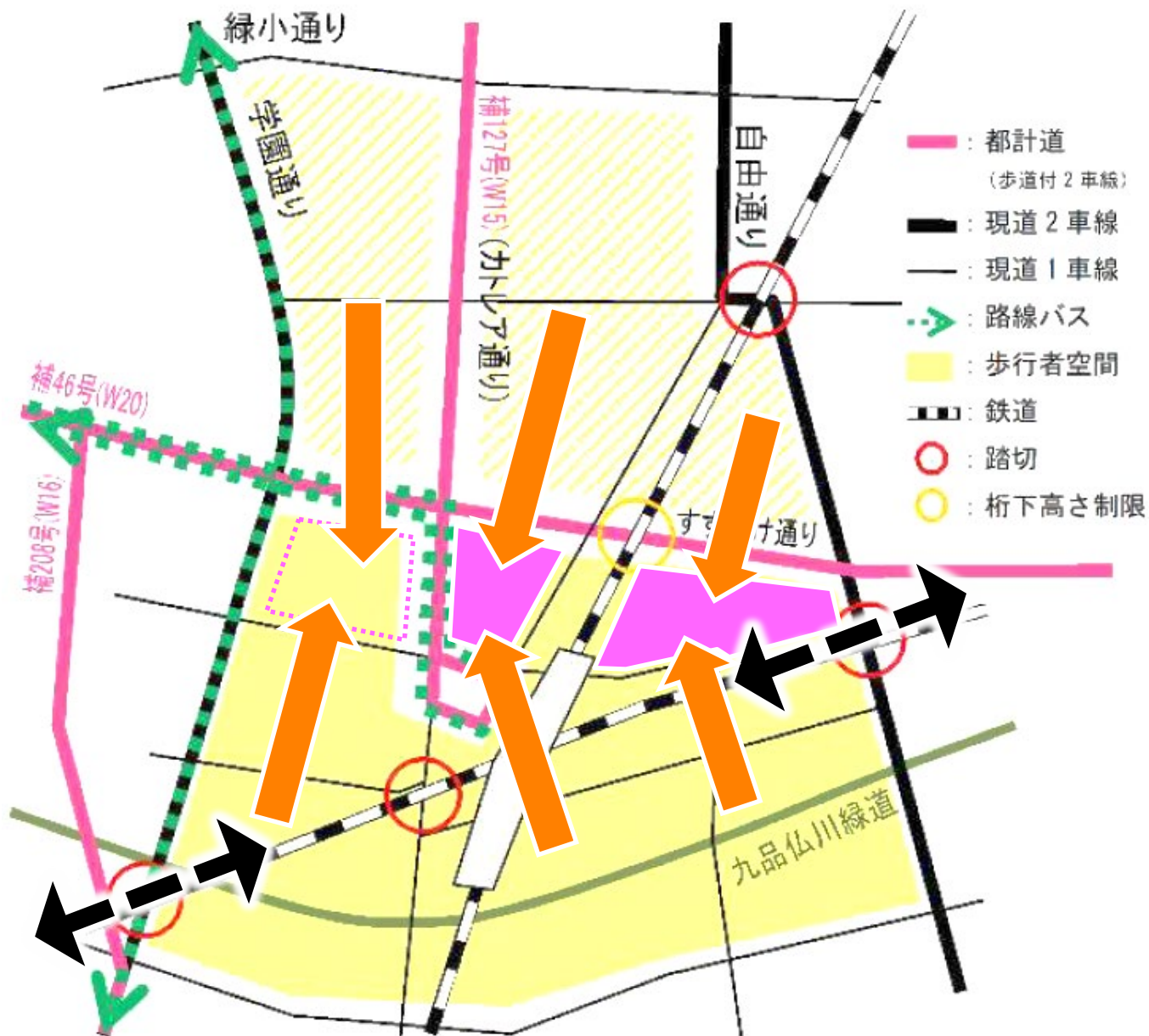
将来道路網（大井町線・東横線連立後）



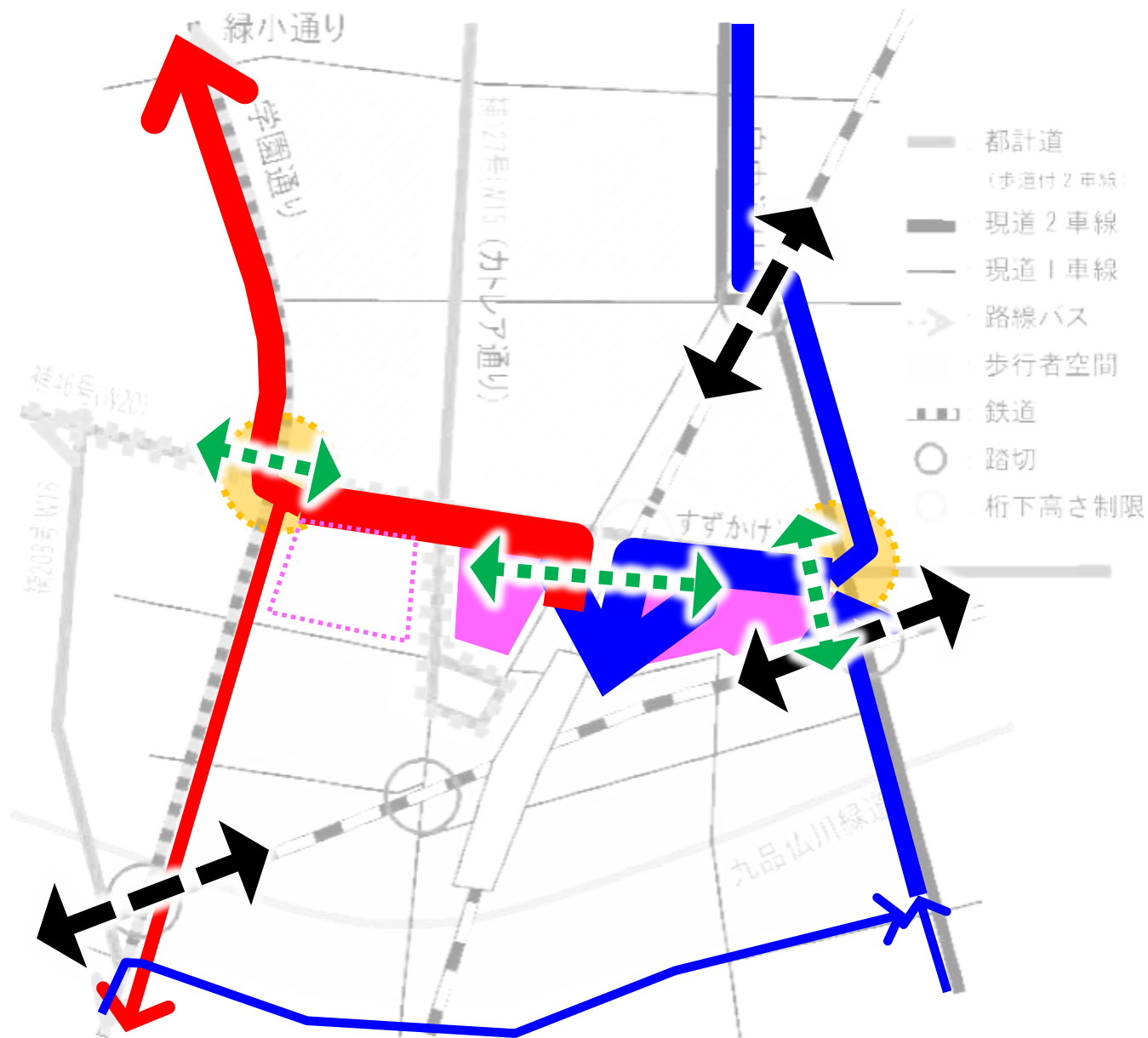
再開発事業に伴う大規模駐車場の立地想定



大規模駐車場への集約化



左折IN・左折OUTの場合



右左折を組み合わせる場合

